

# t2500 シリーズ

アークスプリングカップリング



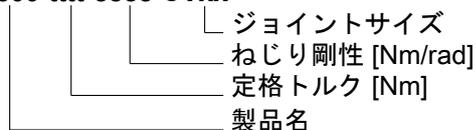
## 詳細

t2500 は特にテストベッドで使用するためのアークスプリングカップリングで、デュアルマスフライホイールのように作用します。モジュール型スプリング設計により、被試験ユニットに剛性特性を合わせることができます。

## 形式

この製品形式は以下の規則によります。

**t2500-tttt-cccc-CVxx**



例: t2500-3200-4000-CV32

## 運転範囲

トルク: 最大 3400 Nm

回転数: 最大 5000 rpm

## メリット

- 大きな動荷重に最適
- 高減衰性、長寿命
- スプリング取付けにより剛性を調整
- 広範囲の剛性

## 機能

車両のデュアルマスフライホイールに関しては、テストベッドのデュアルマスフライホイールは優れた減衰特性を有しています。

アークスプリングカップリングの各ばね構成を使用し、剛性を調節することができます。標準仕様のt2500は1600～3400 Nm/radのねじり剛性に対して、2000～4000 Nmの定格トルクをカバーします。



日本総代理店

 TOKYO PLANT Co., Ltd.  
**東京プラント株式会社**

〒196-0024 東京都昭島市宮沢町 515-5  
TEL: +81-42-546-6500 FAX: +81-42-546-6600  
Email: sales@tokyo-plant.co.jp

# t2500 シリーズ

## アークスプリングカップリング

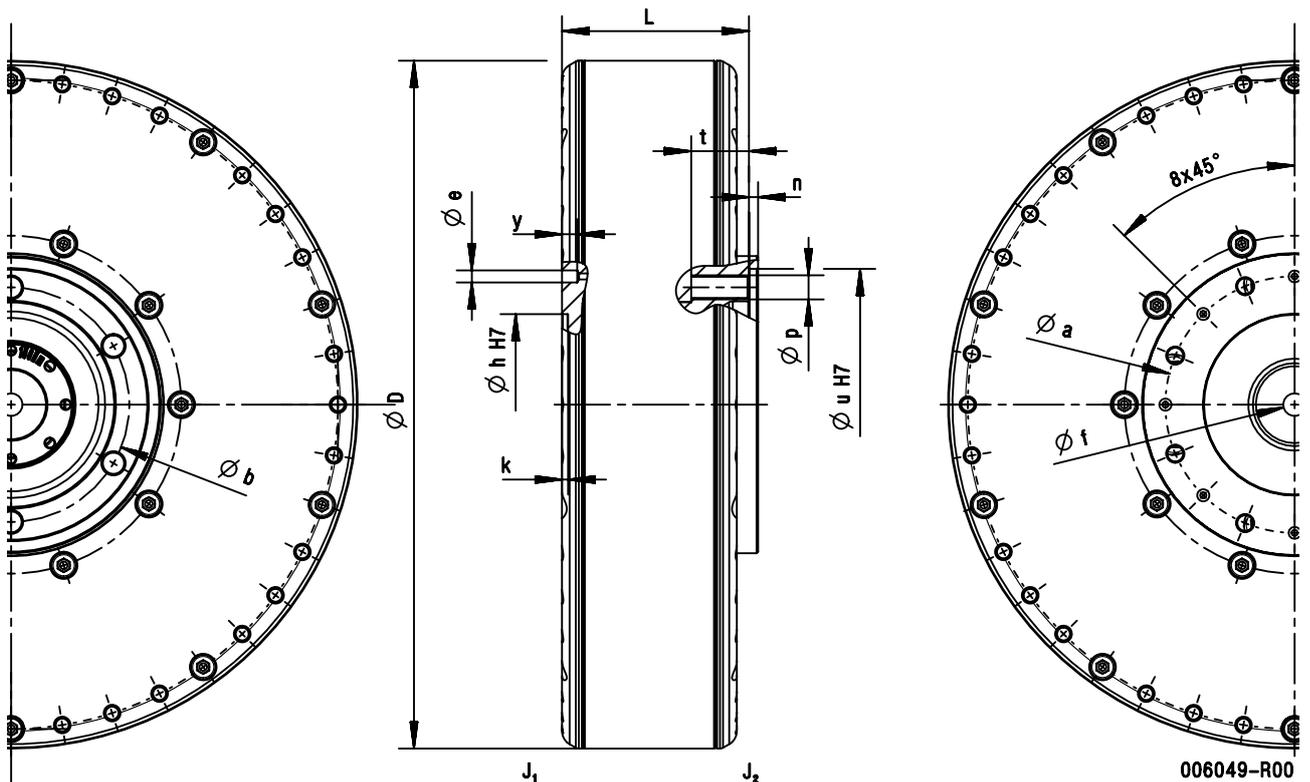
カップリング	ジョイント	$T_{KN}$ [Nm]	$C_{Tdyn}$ [Nm/rad]	$T_{Kmax}$ [Nm]	$n_{max}$ [rpm]	$m$ [kg]	$x_s$ [mm]	$J_1$ [kgm <sup>2</sup> ]	$J_2$ [kgm <sup>2</sup> ]	$\Psi$ [-]	$d$ [Nms/rad]	$\varphi_{max}$ [°]
t2500-1600-2000	CV21	1600	2000	2000	5000	55.16	54.0	1.135E+00	1.682E-01	0.8	2.0	57
	CV32	1600	2000	2000		54.68	53.5	1.135E+00	1.679E-01			
t2500-2200-2800	CV21	2200	2800	2800		57.53	56.4	1.167E+00	1.999E-01			
	CV32	2200	2800	2800		57.05	55.9	1.167E+00	2.005E-01			
t2500-2700-3400	CV21	2700	3400	3400		59.23	55.8	1.190E+00	2.240E-01			
	CV32	2700	3400	3400		58.75	55.3	1.190E+00	2.236E-01			
t2500-3400-4000	CV21	3400	4000	4000		60.93	56.5	1.214E+00	2.471E-01			
	CV32	3400	4000	4000		60.45	56.0	1.214E+00	2.468E-01			

$T_{KN}$  - 定格トルク<sup>1</sup>  
 $C_{Tdyn}$  - ねじり剛性  
 $T_{Kmax}$  - 最大トルク  
 $n_{max}$  - 最大回転数

$m$  - 質量  
 $x_s$  - フランジ側重心  
 $J_1$  - フランジ側慣性モーメント  
 $J_2$  - 軸側慣性モーメント

$\Psi$  - 相対減衰  
 $d$  - 減衰  
 $\varphi_{max}$  - 最大ねじれ角

ご要望により、CV30 および CV42 ジョイント向けのカップリングもご利用可能です。



カップリング	ジョイント	D	L	a	b	e (m6)	f	h (H7)	k	n	p	t	u (H7)	y
		[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[-]	[mm]	[mm]	[mm]
t2500	CV21	456	123	170	108	8	15	120	4	6	M12	38	128	10
	CV30	456	123	170	128	8	15	120	4	7	M12	38	148	10
	CV32	456	123	170	155.5	8	15	120	4	6	M16	38	180	10
	CV42	456	123	170	165	8	15	120	4	8	M16	38	192	10

<sup>1</sup> 定格トルクは最大内燃機関トルク以上である必要があります。